えんど久子前市議など生活と健康を守る会　大分県に要望

人間らしく暮らしたい

７月３０日、生活と健康を守る会大分県連合会は、要望書への回答を受け、大分県の各担当者と１０時半から3時まで話し合いました。

児童扶養手当隔月支給に改善

生活と健康を守る会は「消費税増税の中止を国に要求すること」「介護保険の負担を軽く」「児童扶養手当は、支給金額を増額し毎月支給に改善を」など、３６項目について要望しました。

児童扶養手当は今は年３回の支給ですが、法改正により来年１１月から年６回（奇数月）に改善されるとの回答でした。また、災害で被災した場合は最長１年間、自宅を取り壊さざるを得ない場合は最長２年間県営住宅に住むことができる、との回答でした。

葬儀のサポート事業を

一人暮らしなどの低所得者が尊厳ある葬儀を行えるように、横須賀市などのエンディングプラン・サポート事業などを参考に検討して下さい、と要望しました。この事業は、ご自身で選んだ協力葬儀社と生前に契約し葬儀にかかる費用２０万６０００円を預けておけば安心というものです。大分県の回答は「横須賀市の事業は先進的なもの」というものです。別府の守る会の池冨事務局長は「本人も周りの人も安心でき、県の予算を減らせるものだ。もっと積極的に取り組んでほしい」と求めました。

高すぎる国保税引き下げを

えんど久子県議予定候補は「国民健康保険は、県に責任が移った。国保税の負担が重すぎるため市町村も努力している。大分県は財政支援を強めるべきだ」と強く求めました。

「国の負担を増やすよう要望している。大分県下の国保税滞納は１４．４％」などとの回答です。別府市の滞納は約３０％と県下平均の２倍以上です。

中学生までの通院医療費無料化などを求め発言するえんど久子別府市生活と健康を守る会会長。右端は美馬きょうこ別府市議予定候補。その左は堤栄三県議（大分市選出）。　２０１８．７．３０．

日本共産党県政ニュース

別府市石垣西8－2－31
日本共産党北部地区委員会
発行責任者　えんど久子
TEL0977－22－6576

No.19
2018.8.2.

えんど久子のホームページはっぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください

えんど久子など生活と健康を守る会大分県と話し合い

高校生への奨学給付金を活用しましょう

高校生への給付金が増額されました

生活と健康を守る会や日本共産党は、これまでも教育費の負担軽減について長年大分県に求めてきました。

Ｈ２６年度に始めた大分県独自の「高校生等奨学給付金」は、年々増額し今年度は年８万８００円と当初の２倍以上に増えたと回答がありました。

生活保護と市民税所得割額非課税の世帯が対象となります。条件により金額が違います。学校か大分県の次の電話番号にご相談ください。

公立高校の場合
TEL ０９７-５０６-５４１６

私立高校の場合
TEL ０９７-５０６-３０７２

教員の採用を増やすと回答

「正規教員を増員し、少人数学級を拡大すること」については、「来年度は採用予定者数を昨年度よりも５４名増やし３８９名とした」との回答でした。

えんど久子は、現在小１・小２・中１で実施されている３０人数学級をひろげるよう求めました。

酷暑でもエアコンを我慢して

今年４月以降に生活保護を開始しエアコンがない場合には、エアコン購入費上限５万円と設置費の支給が認められるようになりました。

日田市の会員さんからは、「連日３５度を超える酷暑が続くが、低所得者の家庭では電気代を気にしてエアコンを使えない実態がある。夏は電気代の支援が必要だ」と訴えました。

内成と東山で メガソーラー建設中

内成では３万２０００ＫＷ、２９ヘクタール、東山では２万４０００ＫＷ、１１ヘクタールという大規模なメガソーラーの建設がすすみ、山が切り開かれています。他にも計画があります。

えんど久子は、真島省三前衆議院議員と共に建設中のメガソーラーを視察。大雨の際など問題がないのか、など調査をすすめています。

２０１８．７．２２．